

交通政策審議会海事分科会 国際海上輸送部会  
中間取りまとめ 骨子案

1. 外航海運業の状況等

- ・ 世界の海上荷動量の状況
- ・ 世界の海上荷動量に対する日本商船隊の輸送比率(シェア)
- ・ 船腹需給の推移、運賃市況のトレンド
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響

2. 我が国経済・国民生活における外航海運の意義

(1) 外航海運と日本商船隊の意義

- ・ 我が国の貿易における海上輸送の役割
- ・ 非常時における安定的な国際海上輸送の確保の重要性
- ・ 経済・雇用への貢献

(2) 日本商船隊の重要性を担保する観点からの政策

- ① 日本船舶の必要性
- ② 日本人船員の必要性

(3) 現状のトン数標準税制の意義

3. 今後の外航海運政策における課題や海運業界からの意見

(1) 外航海運の役割

- ・ 経済安全保障の担い手
- ・ 我が国の経済活動への貢献
- ・ 海洋国家の担い手

(2) 外航海運を取り巻く状況の変化

- ・ 海運市況の長期低迷
- ・ 輸送契約期間の短期化
- ・ 事業構造の変化
- ・ 船隊規模の縮小

### (3) 海運業界からの意見

- ・ トン数標準税制の柔軟化
- ・ 日本籍船の増加・維持に向けた日本籍船のコスト適正化等
- ・ 優秀な日本人海技者の確保
- ・ 船舶特別償却等の制度維持
- ・ 官民一体となった先進船舶の導入促進

## 4. 今後の取組の方向性

### (1) 我が国外航海運の国際競争力強化のための当面の取組

- ・ 外航海運のコスト競争力の確保のための税制措置(固定資産税の軽減措置の拡充 ※造船業に対する支援策と一体で措置)
- ・ 環境・安全性能の高い船舶の導入促進(船舶特別償却制度の延長)
- ・ 船舶導入のための資金調達の円滑化
- ・ 規制緩和等による日本籍船の保有促進(可能なものから順次)

### (2) 中長期的な外航海運のあり方を踏まえた、トン数標準税制等外航海運政策の具体的な検討

※トン数標準税制を含む今後の外航海運政策のあるべき姿について、これからも検討する必要性があることや、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が不透明であり、国際海上輸送部会における議論に影響を及ぼす可能性があることから、中間取りまとめとした。